

北海道大学キャリア支援シンポジウム パネリストプロフィール

【高見 暁子】

2002（平成14）年に文部科学省に入省し、初等中等教育（海外子女教育、義務教育制度、教科書検定）・高等教育（留学生支援、奨学金）・生涯学習（障害者の生涯学習推進）のフィールドや文化庁（著作権）、内閣官房（世界遺産登録等に向けたタスクフォース）などを経て、現職。

科学技術イノベーションを牽引する博士人材の育成と、産業界をはじめとした社会の幅広いフィールドでの活躍促進を推進し、2024年3月に文部科学省が公表した「博士人材活躍プラン」の取りまとめに尽力。

博士人材が真に活躍する日本になれば研究力は回復する！と、日々業務に邁進。

【伊勢田 一也】

2014年3月：博士号（理学博士）取得

2014年4月：旭化成株式会社入社

2014年4月～2018年3月：研究・開発本部/化学・プロセス研究所

- ・自動車向け高機能コーティング剤の開発

2018年4月～2020年5月：人事部 人財採用室

- ・技術系新卒採用担当

2020年6月～2022年5月：研究・開発本部/高機能マテリアルズ技術開発センター

- ・自動車窓ガラスの樹脂代替技術（樹脂グレージング技術）の開発、事業化

2022年6月～2024年5月：監査役室

- ・監査役（常勤・非常勤）スタッフ

2024年6月～現在：研究・開発本部/イノベーション戦略総部

- ・コーポレート R&D の戦略・企画：新事業創出に向けた戦略、施策の立案・実行

【深澤 知憲】

20年近くにわたり博士人材に特化してキャリア支援に取り組み、アカデミア、行政、産業界、さらには起業など多種多様なキャリアパス構築をサポート。9,000名以上の博士人材が利用する就職支援サービス群を展開する傍ら、大学や文部科学省等の博士人材育成事業で能力開発・インターンシップ・就職支援を担う。経営的な視点や、大学執行部・企業経営者へのインタビュー取材や対談イベント、各種補助金申請支援などの豊富な経験を活かし、分野や所属を問わずあらゆる博士人材に実践的・現実的なアドバイスを送っている。

【平尾 智隆】

摂南大学経済学部教授。博士（国際公共政策，大阪大学）。専攻は労働経済学，教育経済学。立命館大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学後，法政大学キャリアデザイン学部，愛媛大学教育・学生支援機構を経て，2024年4月より現職。大学院生時代から高等教育の労働市場効果について研究を重ね，近年は学歴ミスマッチやスキルミスマッチについても研究を重ねている。本シンポジウム関係する近刊論文として“College Quality and Initial Employment: Insights from the Japanese Labor Market.” Asia Pacific Education Review（共著）がある。